



- 主な展示製品
- MRI室用オーディオシステム「iMag」
 - MRI室用生体情報モニタ「アイラド」
 - MRI室用パルスオキシメータ「7500FO」
 - MRI室用非観血自動血圧計「マクライフ・ライト」
 - MRI室用外部監視システム
 - 肺換気機能検査用テクネガス発生装置「TECHNEGAS PLUS」

テーマ 放射線科検査におけるリスクマネジメント

MRIを中心とした放射線科関連のリスク低減を支援する各種機器を紹介。今展示会では現在、日本で唯一販売されている肺換気機能検査用テクネガス発生装置を初出展した。

MRI室用オーディオシステム 「iMag」

「iMag」はあらゆるメーカーの装置、3テスラシステムの磁場に対応したMRI室用オーディオシステム。今回の展示モデルは、品質向上や付属タブレットの変更(新型を採用)等の改良が施された最新バージョンである。

同装置は、撮像中にガントリ内に響くスキャニング音をヘッドフォンで遮断するとともに、ヘッドフォンには①音楽、②MRI自動音声案内(オートボイス)、③マイク音声の入力が可能。音声伝達は1方向と2方向とがあり、2方向タイプはヘッドフォンに着脱可能なチューブマイクで被検者の音声が入力できる。その際、被検者の喘鳴などごく小さな音声も確実に操作室に伝達される。ヘッドフォンはオールラウンドと薄型セパレート式の2種類があり、とも



iMag

に頭部検査時のヘッドコイル装着時でも使用可。

操作室に置くマイクスタンドはグースネックタイプで、狭小スペースに設置が可能。操作室のコントロールボックスでは全ての入力音量が調整できる。また、MRIから自動音声案内が流れると、音楽から自動的に切り替わるようになっている。



7500FO

MRI室用パルスオキシメータ 「7500FO」

麻酔・鎮静下や造影剤使用時、小児検査時の被検者生体情報(SpO₂や脈拍数)を把握し、MRI検査を安全に行うためのパルスオキシメータ。生体情報を得る光ファイバーセンサーは、指に挟んで使用するクリップタイプ(成人・小児用)と、足指を挟んで専用ベルトで足首に固定して使うタイプ(小児・



MRI室用外部監視システム

幼児用)とがある。通常は本体を非磁性体スタンド上部に取り付け、検査室に置いて操作室の観察窓越しに本体ディスプレイの情報を確認する。オプションのMRI室用外部監視システムを選択すると、本体からの生体情報送信により、操作室のPC画面上での常時監視が可能となる。

肺換気機能検査用テクネガス発生装置 「TECHNEGAS PLUS」

核医学検査室で使われる肺換気機能検査用テクネガスを生成する装置。展示品は、90年代に開発され97年に一時生産を中止していた旧型装置の後継モデルに当たり、国内では2015年から本格的に販売がスタート。同装置はテクネガスを約10分で生成可能であり、世界で300万例以上の検査実績を持つ。臨床現場ではCOPDや肺血栓塞栓症の検査、肺切除手術のスクリーニングなどに活用されている。



TECHNEGAS PLUS